

「ロボットの産業化とイノベーション」

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会が第2回研究会を下記の要領にて開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

<全体概要>

近年の世界的なロボット技術の発展による産業化・ビジネス化への期待が増大し、さらに安全性を求める流れの中で、視覚認識や人間との制御された対応技術の開発が精力的に行われています。今回は、ロボットの基盤技術の研究に精通し、さらに産業化やビジネス化への展開に精通されている3名の産総研の研究者から最新の研究動向と今後の展望についてご講演いたします。

記

- ◆日時：平成28年12月21日（水）14時15分～17時15分
- ◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室
(名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター 15階)
- ◆定員：35名
- ◆参加：協会会員及び公的機関等に属する方（無料）
(※席に余裕がある場合は一般の方も受付いたします。)
下記申込用紙をFAXでお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、下記事務局アドレスへ送信下さい。

■ プログラム

14:15～15:00

「ロボットイノベーション」

大場光太郎（産総研 情報・人間工学領域 ロボットイノベーション研究センター 副研究センター長）

改革2020にも大きく取り上げられ期待されている、ロボットによるビジネスをどうやって生み出すのか、生活支援ロボット安全検証センターの実績などを紹介しながら、俯瞰的に説明します。

15:00～15:15 休憩

15:15～16:00

「産業用ロボットの知能化に向けた取り組み」

河井良浩（産総研 情報・人間工学領域 知能システム研究部門 副研究部門長、
(兼) 同部門 マニピュレーション研究グループ 研究グループ長）

製造現場で多種多様なワークを扱える知能ロボットの実現を目指して行っている、視覚認識技術、マニピュレーション技術等に関する研究開発、および、応用事例を紹介します。

16:00～16:45

「ヒューマノイドロボットの産業応用に向けて」

金広文男（産総研 情報・人間工学領域 知能システム研究部門 ヒューマノイド 研究グループ 研究グループ長）

ヒューマノイドロボットは人の活動を代替する究極のロボットとして期待されるものの、技術的課題が多く、研究開発用に用いられるに留まっている。ヒューマノイドロボットの産業応用を目指して行っている研究開発の内容や技術的課題について紹介します。

16:45～17:15 総合討論、名刺交換

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局（名古屋駅前イノベーションハブ内）

TEL:052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai-ml@aist.go.jp

【会場案内】

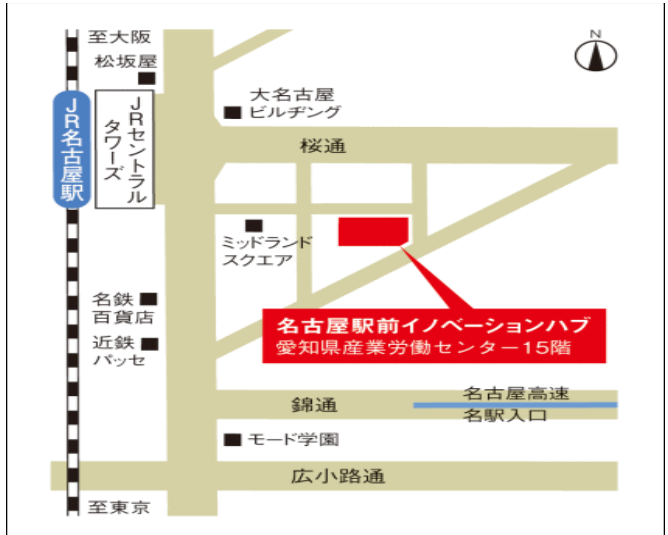
名古屋駅前イノベーションハブ

TEL : 052-583-6454 FAX : 052-583-6462

住所：〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-38
愛知県産業労働センター 15階
(愛称：ウインクあいち)

※ 名古屋駅より徒歩5分



産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 平成28年度第2回研究会
「ロボットの産業化とイノベーション」
(平成28年12月21日)

参加申込書

FAX : 052-583-6462

氏名 (代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
住所 (連絡先)	〒	TEL: () -	E-mail:

※本申込書に記載される情報につきましては、個人情報保護法のもとに適切に管理し、本目的以外への転用は行いません。